

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標7\_行財政運営】

施策 7-1\_人口減少対策とシティブランド戦略の推進

基本計画		事業番号	細事業名称
7-01-01	移住・定住の促進	02508_01	移住相談窓口設置事業
7-01-01	移住・定住の促進	02516_01	奨学金返済支援事業
7-01-01	移住・定住の促進	02517_01	お試し滞在推進事業
7-01-01	移住・定住の促進	02519_01	空き家バンク推進事業
7-01-01	移住・定住の促進	02530_01	新居浜情報定期便事業
7-01-01	移住・定住の促進	02533_01	移住者住宅改修支援事業
7-01-01	移住・定住の促進	02548_01	転入者ウェルカム事業
7-01-01	移住・定住の促進	02573_01	生涯活躍のまち推進費
7-01-01	移住・定住の促進	02611_01	生涯活躍のまち拠点施設オープニング事業
7-01-01	移住・定住の促進	02614_01	移住定住応援推進補助金
7-01-02	出会い・結婚支援の推進	02542_01	縁結びサポート事業
7-01-03	シティブランドの形成	02528_01	シティブランド戦略推進事業
7-01-03	シティブランドの形成	02550_01	シティプロモーション推進事業

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02508_01			
事業名(行目名称)		移住相談窓口設置事業費	細事業名	移住相談窓口設置事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外在住者のうち、本市への移住希望者 (西条市を含め、東予圏域への相談者数を希望者とする)		数値	約500名			
	手段(どうやって)	社会減への対応策として、他地域からの移住者の増加を図るため、移住相談窓口の設置や、首都圏で開催される移住フェアへの出展等により、本市の住みやすさをPRし、移住者の増加を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本市への移住者の増加 ⇒ 人口社会減の改善						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		2,609	3,632	3,632	2,652	報酬 1,727千円 共済費 387千円 旅費 420千円 消耗品費等 68千円		
財源	県・国支出金	1,148	0	1,551	1,141			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		1,461	3,632	2,081	1,511			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
相談後の移住者			目標値	15	20	10	20	20
			実績	70	10	5	18	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>新型コロナウイルスの拡大により、オンライン移住フェアに積極的に参加した。 移住相談はあるが、コロナの影響もあり直接的な移住に結びついている事例は少ない。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>オンライン移住フェアの参加申込みを促すため、今後PR動画等活用して広告運用していく必要がある。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>長引くコロナ禍において、地方移住・リターンを検討している方からの電話やメールでの相談が大幅に増加し、移住者数も増加した。令和4年度については、リアルでの移住フェアへの出展も予定しており、対面相談とオンライン相談をうまく使い分け、更なる移住者の獲得を目指す。</p>								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02516_01			
事業名(行目名称)		奨学金返済支援事業費	細事業名	奨学金返済支援事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	本市出身者で市外へ進学する者 1,000人×49.1%	数値	約500人				
	手段(どうやって)	本市へのUIJターン、地元就職を条件に、新卒就職者の奨学金の返済を支援する						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本市へのUIJターン、地元就職の促進						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,012	10,452	10,452	7,131	補助金 10,452千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	7,012	10,452	10,452	7,131			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
奨学金返済支援事業を利用した人数(人)			目標値	60	70	35	80	75
			実績	63	50	27	54	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新居浜市へのUIJターン及び市内中小企業への就職を促進するきっかけとなっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
今後も若者のUIJターンを促進し、人口減少を食い止める必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
若者の本市へのUIJターンだけでなく、市内企業への就職にもつながっており、今後も継続していく必要がある。今後は、就職イベントにおける学生へのチラシ配布や市内企業への制度周知を行う等、より多くの若者に利用してもらえるよう周知方法の検討が必要である。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02517_01		
事業名(行目名称)		お試し滞在推進費	細事業名	お試し滞在推進事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外在住者のうち、本市への移住希望者(西条市を含め、東予圏域への相談者数を希望者とする)	数値	約500人			
	手段(どうやって)	社会減への対応として、他地域からの移住者の増加を図るため、移住検討者が気軽に負担なく本市を訪れ、市内を散策できるよう、移住の下見期間の滞在費(宿泊費)を支援する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	移住者の増加					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	お試し住宅光熱水費等 257千円 お試し住宅使用料(器具、電算機等) 245千円	
経費		393	929	929	661		
財源	県・国支出金	181	0	464	273		
	地方債		0	0			
	その他	212	360	360	110		
	一般財源	0	569	105	278		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
お試し移住事業を利用した移住者		目標値	4	6	12	25	10
		実績	5	20	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルスの感染拡大により、貸付けを中止していたが、中止期間中も多くの問合せを受けた。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
移住の前段階で、新居浜暮らしを体験してみたいとの声が多く、今後も継続して実施する。 また、お試し滞在中に先輩移住者との交流を実施する等、利用者の満足度を上げられるよう検討していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
感染拡大により行動制限が宣言されていたため、受入れ中止の期間が長く、令和3年度において利用から移住までつながった人はいない。お試し移住制度の需要は高く、今後、子育て世帯や若者世代の利用を増やすため、相談や移住フェアへの参加者に対してPRを行い、本市の生活環境や魅力を感じてもらい、移住につなげていく必要がある。また、それぞれの利用者にあった対応を行い、滞在中の満足度を高め、移住につなげていく。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02519_01			
事業名(行目名称)		空き家バンク推進費	細事業名	空き家バンク推進事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外在住者(移住希望者)		数値	約500名			
	手段(どうやって)	売却や賃貸を希望する空き家所有者及び宅建協会から物件情報を収集し、「空き家バンクシステム」を活用した情報のデータベース化を行い、主に住まいを探している移住検討者に向けて情報を発信し、双方のマッチングを図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	移住者の増加、空き家の有効活用促進						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	空き家バンクシステム利用料 66千円		
経費		66	66	66	66			
財源	県・国支出金	33	0	33	33			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
一般財源		33	66	33	33			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
成約件数(累計)			目標値	10	15	8	15	15
			実績	25	11	2	9	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
空き家バンクへの問合せや登録はあるが、移住者が空き家を活用した事例がほとんどないのが現状である。愛媛県との協調補助金も活用して、空き家の有効活用を図っていきたい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
予算はシステム使用料のみであるため、現状の予算で改善を図る。 積極的な空き家物件登録を促し、空き家利用検討者の選択肢を広げる必要がある。また、空き家となって早い段階での対策が必要であるため、建築指導課との連携も必要である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
移住検討者は、比較的価格の低い空き家を各自自治体の空き家バンクサイトで検索しており、今後も空き家バンクの需要は高く見込まれる。これまで登録があった物件についても、契約率が高く、今後も市内不動産会社と連携し、当サイトへの登録を促進し、移住者の選択肢を拡充する必要がある。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02530_01			
事業名(行目名称)		新居浜情報定期便事業費	細事業名	新居浜情報定期便事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	進学等により新居浜市を離れる学生等	数値	約460名				
	手段(どうやって)	進学等により新居浜市を離れる学生等に、定期的に新居浜市の情報を提供し続けることにより、新居浜市との接点、新居浜市への思いを持ち続けてもらう。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	就職時の本市へのUターン促進						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		108	167	167	79			
財源	県・国支出金	54	0	83	36	消耗品費(宛名シール外) 10千円 印刷製本費 20千円 通信運搬費 137千円		
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	54	167	84	43			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
登録者数			目標値	120	140	100	100	100
			実績	74	65	60	59	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
登録者数が微減傾向であり、こちらからの一方通行になっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
登録者数の増加を図るための周知と同時に、登録者が求めている情報提供及び登録者からの声を反映できる仕組みが必要である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討					
市内の高校3年生や県内の大学等制度の周知はしているが、登録者数が伸び悩んでいる。また、当制度は市外に進学や就職をした若者を対象としているが、現会員のなかには、全国「にいしま倶楽部」の会員が混合しており、今後は「にいしま倶楽部」との統合も含めて検討していく必要がある。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02533_01			
事業名(行目名称)		移住者住宅改修支援事業	細事業名	移住者住宅改修支援事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市外在住者(移住希望者)	数値	約500名				
	手段(どうやって)	空き家バンク(新居浜市・愛媛県)に登録された戸建て住宅を購入又は賃貸し、住宅改修を行う愛媛県外からの移住者に対し、改修工事費用等の一部を補助する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本市への移住促進						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	4,200	4,200	0	補助金 4,200千円		
財源	県・国支出金	0	2,100	2,100	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	2,100	2,100	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
補助を通じた移住者数			目標値	3	3	1	3	5
			実績	0	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
愛媛県との協調補助事業であり、県の要件が厳しく、実績が乏しい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
積極的なPRが必要である。対象物件の選択肢を増やすため、空き家バンクの登録促進も必要である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
愛媛県との協調補助事業であることから、継続する必要がある。空き家バンクと連動した事業展開や、市内不動産会社への制度周知を行い、移住者の利用を促進していく必要がある。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02548_01			
事業名(行目名称)		転入者ウェルカム事業費	細事業名	転入者ウェルカム事業				
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進				
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	転入者		数値	約2000世帯			
	手段(どうやって)	新居浜市の人口のうち、約1/3を占める市外出身の転入者に対し、新居浜市を知ってもらい、互いに交流する機会を提供する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市民(特に転入者)の新居浜市に対する誇りや愛着を高めること						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,832	2,008	2,008	398	転入者ウェルカムツアーバ自動車借上料132千円 転入者ウェルカムプレゼント封入手数料128千円 転入者ウェルカムプレゼント地域ポイント発行負担金1,500千円等		
財源	県・国支出金	897	0	1,004	149			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	935	2,008	1,004	249			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
転入者の新居浜市への好意度(%)			目標値	0	80	-	83	83
			実績	78.5	82.8	-	82.3	-
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>転入者の直接的なアプローチに加え、新居浜市の魅力の発信にも繋がっている。また、今年度より温泉券に代わりあかがねポイントをプレゼントしており、年度末には実際のポイント利用状況も把握できる。 転入者ウェルカムツアーについては、下半期に2回予定しており、コロナの状況をみながら、感染対策を徹底したツアー実施が必要となっている。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>転入者の直接的なアプローチに加え、新居浜市の魅力の発信にも繋がっており、転入者アンケート配布の役割も担っていることから、現状維持とする。また、本年度より実施している共同作業所への封入作業依頼についても概ね良好のため継続して実施する。しかしながら、転入者アンケートについては、回収率を上げるための工夫が必要である。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>ウェルカムプレゼントは、転入者に対してのファーストアプローチとして大変有効な手段であり、ウェルカムツアーに関しては、転入者同士の交流の場の役目も担っていることから、継続して事業を実施する。また、一昨年度から半日コースへの変更に伴い参加者が増加しており、本年度も継続して半日で実施したい。</p>								



## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02573_01		
事業名(行目名称)		生涯活躍のまち推進費	細事業名	生涯活躍のまち推進費			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	移住希望者(本市に所縁のある人) 転出者3,000人×10%×10年		数値	約3,000人		
	手段(どうやって)	当面は拠点施設となる旧若宮小学校の運営に関する協議会を開催するとともに、活用に向けた各種取り組みを実施していく。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	人生100年時代を見据え、地域住民が生涯活躍できるまちづくりを推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,333	455	455	12	報償費 206 旅費 209 需用費 30 役務費 10	
財源	県・国支出金	372	0	227	6		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	961	455	228	6		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
実施したアクションプラン数		目標値	4	3	1	1	0
		実績	1	2	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
生涯活躍のまち推進協議会について、コロナ感染対策の影響を受け、前期で開催できなかったため、R4.1月の開催に向け準備をする予定。 協議会の中で、今後のRCCアクションプランの取り扱いと推進協議会の運営方法について協議をする必要がある。 R4.3月には、ワクリエ新居浜の運営に係る第3者委員会(作業部会)を開催する予定。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
RCCアクションプランの中で令和4年度までの事業をロードマップとして示していることから現状維持とし、変更がある場合は、今年度の協議会による今後の運営方法の検討結果による。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
生涯活躍のまち推進協議会の開催に向け準備をしていたが、コロナ感染対策の影響を受け、書面開催とした。 RCCアクションプランの取り扱いと推進協議会の運営方法については、施設等の整備が完了し、ソフト事業を残すのみとなったことから、協議会に諮ったうえで廃止することとなり、3月末において協議会を廃止とする方針決定(市長決裁)を行った。 なお、今後は指定管理者が主体となって各関係団体等と意見交換を行い、施設運営の充実に向けた改善を図ることとなった。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02611_01		
事業名(行目名称)		生涯活躍のまち拠点施設オープニング事業費	細事業名	生涯活躍のまち拠点施設オープニング事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	116886人			
	手段(どうやって)	ワクリエ新居浜の指定管理者に委託し、各施設の整備主旨に沿った内容のオープニングイベントを開催する。イベントの開催に際しては、コロナウィルスの感染状況に配慮することを念頭に、HP、SNSを中心に広報するとともに、市政だよりや市のHPなど、市も積極的に関与する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新しい拠点施設の完成と活用方法を広く市民に周知するとともに、実際にイベント等の参加し、施設を利用していただくことで、施設を身近に感じていただき、市民一人一人が将来に渡って、施設を活用していただくきっかけとする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	委託料 6,039	
経費		0	6,039	6,039	4,000		
財源	県・国支出金	0	0	3,019	2,000		
	地方債	0	0	0			
	その他	0	6,039	3,020	2,000		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
イベントの開催種類		目標値	0	0	5	7	3
		実績	0	0	2	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナウィルス感染症の拡大を受け、施設の休館、イベントの縮小等、大きな影響を受けたが、延期したイベントを含め後期も継続してイベントの開催に向け調整していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
施設の供用開始を受けたオープニング事業であるため、単年度で廃止。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
コロナウィルス感染症の拡大を受け、計画していた事業の一部(文化講演会、子育てイベント、ものづくりイベント)を繰越した。施設の周知拡大と活用促進を積極的に図るため、次年度において早期に事業を計画し実施する必要がある。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02614_01		
事業名(行目名称)		移住定住応援推進費	細事業名	移住定住応援推進補助金			
総合 計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	移住・定住の促進	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	H30.4.1以降に転入してきた者		数値	約10,000人		
	手段(どうやって)	県外からの移住者が住宅を新築購入、改修に係る経費の一部を補助する。 また、子育て世帯には加算補助もある。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	移住者(Uターン者含む)の増加					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	15,000	21,000	7,300	補助金 15,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	15,000	21,000	7,300		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
移住定住応援事業の申請件数		目標値	-	0	6	12	15
		実績	-	0	7	17	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
移住支援住宅の利用者が当補助金を活用し、市内の住宅を購入された事例もあり、定住促進につながっていると感じている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
定住人口の拡大のため、継続して実施する。今後多くの子育て世帯に活用してもらうため、周知方法の工夫も必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		B:事業の進め方の改善検討				
申請件数は目標値を上回っているが、定年後の移住等本来のターゲット層以外の申請も一定数いることから、年齢制限を設ける等、ターゲットを絞りより効果的な制度に変更する必要がある。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02542_01		
事業名(行目名称)		縁結びサポート事業費	細事業名	縁結びサポート事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	出会い・結婚支援の推進	担当課	男女参画・市民相談課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	120351			
	手段(どうやって)	新居浜市縁結びサポートセンターに設置した「愛結び」コーナーの運営、交流イベントの開催(年4回)、結婚サポーターの交際フォロー等を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	若者世代の結婚しない主な理由として適当な相手に巡り合えないことを挙げていることから、未婚の男女の出会いの場を創出する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,554	3,380	3,380	3,141	委託料 3,368千円 消耗品費 9千円 通信運搬費 3千円	
財源	県・国支出金	1,777	0	1,690	1,570		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,777	3,380	1,690	1,571		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
イベント等をきっかけとした婚姻数		目標値	3	5	0	5	8
		実績	6	9	4	8	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度は、イベントや愛結びをきっかけとした成婚者数は上半期に4組とまずまずの成果といえる。出会い交流イベントは新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小して実施したり、Zoomを利用したオンラインイベントを開催し、複数のカップルを成立させている。交流イベントには市外からの応募も多数あり、新型コロナウイルス感染症の影響を考えるとオフラインイベントの開催が難しい。ウイメンズブラザの臨時閉館に伴い、マッチングシステムを利用した							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
イベントをきっかけとした婚姻数をさらに増やせるよう、SNS等を利用して周知するとともに、参加希望者が増えるようイベントの内容や回数などを検討する。次年度についても国の財源措置(1/2)を活用し、今年度と同様の予算規模及び方法にて事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
平成29年度からえひめ結婚支援センターに委託し実施している縁結びサポート事業について、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度はオンライン6回、オフライン2回の計8回イベントを開催し、参加者数延べ100名以上でその中から25組のカップルが誕生した。また、愛結びについても新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、閉所した時期もあったが、成婚者数は7組出ており、感染対策をしっかりと行いながら、事業内容の充実を図っていききたい。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02528_01		
事業名(行目名称)		シティブランド戦略推進事業費	細事業名	シティブランド戦略推進事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	シティブランドの形成	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	117389			
	手段(どうやって)	社会減への対応策として、他地域からの移住者を増やし、新居浜市からの転出者を減らすための取組として、民間企業が多く採用するブランド戦略的手法を取り入れる。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜ブランドのファンを市内で確立(インナーブランディング)し、そのプロセスを経て段階的に、外への情報発信(アウトナーブランディング)を拡大させる。(対外的な新居浜市の認知度・注目度及び市民の満足度・誇りを高める)					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		9,633	6,263	10,985	5,980	時間外1,015千円 消耗品費740千円 印刷製本費1,800千円 広告料3,119千円 シティブランド戦略事業実施業務委託料1,384千円 等	
財源	県・国支出金	4,602	0	4,935	2,718		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	5,031	6,263	6,050	3,262		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
シティブランド活動への賛同意識(%) 都市イメージに関する調査		目標値	0	0	-	60	60
		実績	56.5	57.6	-	59.3	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>昨年度に引き続きシティブランド戦略推進のため、「繋がり構築」と「情報発信」を2本柱として各種事業を実施しているが、みらい会議等、新型コロナウイルスの感染拡大によりオンラインへの切り替えを余儀なくされている。下半期においては、事業実施検討の際にコロナ対策及びオンライン活用等の工夫が必要である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>「Hello!NEW新居浜」のさらなる定着を目指して、継続的な事業実施は必要であるが、事業への認知だけでなく活動への賛同が得られるように、市民を巻き込んだ事業実施が必要である。そのためにも、本年度より実施している外(市外)から視点を活用した事業(ツレテク・ソーシャルビジネスコンテスト等)については、今年度の経験を踏まえて、来年度も引き続き実施する必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>シティブランド活動への認知度は年々上昇しているが、シティブランド活動への賛同(参加)は横ばいであり、市民のシティブランド活動への参加意欲、推奨意欲の醸成を図るため、事業内容の見直しも含め、広報(PR)の強化が必要である。また、令和5年度からスタートする第3ステージに向け、現事業の見直しや新しい視点での新規事業も検討していく。</p>							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02550_01		
事業名(行目名称)		シティプロモーション推進費	細事業名	シティプロモーション推進事業			
総合計画	まちづくり	行財政運営	施策	人口減少対策とシティブランド戦略の推進			
	基本計画	シティブランドの形成	担当課	シティプロモーション推進課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市に興味・関心のある人		数値	57360		
	手段(どうやって)	○移住・定住に特化した専用のWebサイトの安定的な管理運用 ○大都市圏向けに、新居浜市の良さや魅力を知ってもらうためのシティプロモーションコンテンツの制作、配信・配布。 ○ニイハマ写真部まち歩き撮影会を開催する。等					
	目的(どんな状態にしたいのか)	最終目的は、本市への移住・定住者の増加と市民の愛着と誇りを高めることであるが、当面の目的としては、市外・県外の人に新居浜の良さや魅力を認識してもらうとともに、市民に市の魅力を再認識してもらい、新居浜の認知度や好意度をアップさせることである。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		16,619	3,584	15,384	15,095	移住定住ポータルサイト保守管理業務720千円 移住定住ポータルサイト改修業務1,815千円 シティプロモーションマガジン制作業務9,545千円 ニイハマ写真部企画運営制作業務2,255千円	
財源	県・国支出金	7,994	0	7,674	7,544		
	地方債		0	0			
	その他	656	2,000	2,000	423		
	一般財源	7,969	1,584	5,710	7,128		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
地域ブランド調査全国ランキング (魅力度)		目標値	0	420	-	360	200
		実績	483	596	-	415	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
移住・定住ポータルサイトについては、本年度検索しやすく魅力あるサイト(動画アップ等)となるよう改修を行ったが、情報ニーズは高まっているもののアクセスの質が「短時間&少ページ」に変わっているため、検索やSNS流入から早く少ないページ数で目的の情報を見せる設計が必要となっている。 シティプロモーションコンテンツ及びニイハマ写真部については、下半期より本格的に制作が始まっており、移住定住ポータルサイトとの連携も図りながら着実な事業実施が課題である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
移住・定住ポータルサイトについては、移住定住に興味を持っている方に直接情報を届けられるサイトとして不可欠であり、現状維持とするが、検索やSNS流入から早く少ないページ数で目的の情報を見せる設計が必要となっている。 シティプロモーションコンテンツ及びニイハマ写真部については、本年度同様積極的にWeb広告の活用を図るとともに、連携して実施できるよう見直しが必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
シティプロモーションコンテンツとしては、移住促進ドラマと連動した冊子を作成し、同時に移住・定住専用ポータルサイトでも動画の配信を行い、移住検討者等に向け本市の魅力を訴求することができた。また、ニイハマ写真部については、市民とともに市の魅力を発信できる貴重な事業であり、より効果的な発信を行うため、引き続き事業実施を行う必要がある。							